

令和 6 年 3 月 2 6 日

世田谷区産業振興公社

令和 5 年度世田谷区産業振興公社の改革方針の取り組み状況

1 改革方針について

公益財団法人世田谷区産業振興公社（以下「公社」と記述）では、設立以降の社会状況の変化を踏まえ、公社が引き続き区や民間セクターに対して優位性を保ちながら事業を実施していくため、体制・事業の見直しを進める改革方針を 4 年 2 月に策定した。

改革方針に基づく取り組みについて、5 年度の進捗をまとめたため報告する。

2 取り組み状況の評価

公社では、5 年度も改革方針に基づき主要事業 4 分野（融資・経営相談、雇用・就労支援、勤労者福祉《セラ・サービス事業》、地域活性・観光）の取り組みを進めた。特にセラ・サービスでは 5 年度当初から（株）ベネフィット・ワンへの本格的な事業委託を開始し、24 時間受付等の利便性向上や利用施設の大幅な増加を実現したが、会員数の減少や事業利用率の伸び悩みが課題であり、更なる取り組みを進める。他分野でも創業講座のオンデマンド配信、就職説明会での事業所見学者数の増加、世田谷みやげの充実、まちなか観光交流協会での部会、交流会の開催に取り組んだ。

各分野に共通の D X 推進では、内部事務（出退勤、超過勤務、決裁等）から取り組み、5 年度内に事業利用や施設利用の申し込み等の手続を電子化した。施設活用では 6 年 7 月の世田谷区民会館別館（三茶しゃれなあどホール）の移転に合わせて運営の効率化とサービス向上に向けた準備を進め、6 年 3 月から新たな予約システムの運用を開始した。

セラ・サービス事業をはじめ、残された課題があるものの、改革方針の取り組みを確実に進めている。公社が今後も区内中小企業の経営強化と事業者の生活・福祉の向上に貢献できるよう、6 年度に新たな「改革方針」を策定し、公社の経営基盤の強化、事業の効率化とサービスの向上、D X 推進や組織運営体制の改善などに取り組んでいく。

3 各分野の進捗

改革方針で示した行動計画について、各分野の進捗は以下の通りである。

(1) 融資あっせん・経営相談

「中小事業者伴走型支援事業」を開始し、区内事業者の課題に伴走した訪問相談等の体制を整備した。販路開拓、システム導入、補助金活用等の相談に対応し、相談事業者の経営改善を進めたが、相談回数が伸び悩んだ。金融機関への周知依頼や公社事業利用者に勧奨等を行うとともに、1事業者あたりの相談回数等の実績を踏まえ目標を見直した。

また、創業講座（特定創業支援等事業）の受講希望者の増加に対応するため、6年3月に講座のオンデマンド配信を開始し、受講生の利便性の向上と定員増を図った。「世田谷区地域経済発展ビジョン」では起業・創業者への応援を取り組みに挙げており、公社でも創業後の継続的な相談の実施など、増加傾向にある創業希望者に対する支援に取り組む。

《主な事業実績》

①中小事業者伴走型支援事業

項目	目標	実績（見込み）	達成状況
相談事業者数	27事業者	24事業者	約9割
相談回数	190回	135回	約7割

②創業講座（特定創業支援等事業）

項目	目標	実績（見込み）	達成状況
受講人数	300人	340人	達成
オンデマンド配信実施	年度内に開始	3月開講	達成

(2) 雇用・就労支援

三茶おしごとカフェを運営し、就職を希望する求職者と求人事業者の支援を実施した。事業所も参加した業界理解を進める業界別説明会を開催し、参加事業所への見学者数の増加、就職決定につなげた。売り手市場にあって求職者の来館数は4年度に比べ減少しているが、セミナーの参加者や就職決定数を伸ばした。

《主な事業実績》

①事業所が参加した業界別説明会

項目	目標	実績（見込み）	達成状況
説明会開催数	10回	10回	達成
事業所見学者数	20人	30人	達成

②就職支援セミナー・事業所求人支援セミナーの開催

項目	目標	実績（見込み）	達成状況
開催数	148回	148回	達成
参加者数	6,000人	6,040人	達成

（３）世田谷みやげ・地域活性化・交流推進

５年度の新規募集から、対象を「商品＝モノ」だけでなく「体験＝コト」に拡充し、応募資格を変更した結果、応募数と新規指定数とも増加し、ブランド力の向上につながった。冊子の配布のほか、今年度からデジタルブックを公開し、利便性を向上させた。

また、イベントでの世田谷みやげ等の出展については、コロナ禍を経て、中止していたイベントが再開される中、これまで出展していたイベントだけではなく公社に新たに出演依頼があるイベントも増えた。世田谷みやげのPRの機会、指定事業者の販売促進の機会を提供し、地域経済の活性化につながるとともに、イベントの盛り上げ、地域の賑わいの創出に寄与した。能登半島地震の復興支援のため物産展及び募金活動を行い、多くの方から寄付をいただいた。

６年度は２０周年記念事業を実施し、世田谷みやげの歴史や魅力を交流自治体等区内外に発信するとともに、世田谷みやげアンバサダーの委嘱、区民参加の仕掛けにより、世田谷みやげの一層の認知度向上を図る。

また、今後の世田谷みやげ等の出展については、公社、まちなか観光交流協会主催事業、区主催イベントを基本に、都主催のイベントへの協力や民間事業者主催の大規模なイベント、地元主催のイベントを中心に出演していく。その際、能登半島地震の復興支援にも取り組む。出展の実績を積み上げ、出展の課題や効果を確認・整理し、世田谷みやげ指定事業者等の出展者の声を聞きながら、集客力があり世田谷みやげのPR効果が見込める、まちなか観光交流協会出展によりイベントの盛り上げ、地域の賑わいに貢献できる等、公社が関わるイベント出展の狙いと効果を定めていく。区内産業団体、まちなか観光交流協会会員等と連携を図り、取り組んでいく。

①世田谷みやげ

項目	目標	実績（見込み）	達成状況
指定内容	指定数増 体験型の指定	16増《計121》 新規21の内体験型1	達成

②イベントでの出展

項目	目標	実績（見込み）	達成状況
出展イベント回数	23回	29回	達成

※出展者は、世田谷みやげ指定事業者、まちなか観光交流協会会員、交流自治体

（４）観光

5年度のまちなか観光交流協会運営では、民間事業者との連携を強化するため、事務局として調整役をさらに進め、地域イベントでの出店調整、交流会やスポーツ部会の開催により協会会員同士のつながりの強化や交流を促進した。6年度は、新たな部会の立ち上げとともに、観光メッセなど、新たにまちなか観光交流協会が主催する事業を開催する。観光メッセの実施に向けて6年2月に意見交換会を開催し、20団体の参加を得た。また、6年度は組織強化や協会会員による観光交流の充実に向け、まちなか観光交流協会の運営体制の検討を行う。

《主な事業実績》

①交流会の開催

項目	目標	実績（見込み）	達成状況
開催回数	1回	1回	達成
参加団体	60団体	36団体	6割

②部会の開催

項目	目標	実績（見込み）	達成状況
スポーツ部会の開催	1回	2回	達成
参加団体	4団体	10団体	達成

（５）勤労者福祉（セラ・サービス事業）

セラ・サービス事業については、ベネフィット・ワンへの本格的な事業委託を開始し、24時間予約可能などの利便性向上と利用施設等の大幅な拡大により、昨年度と比べテーマパークやeラーニングなどで利用増となった。一方、宿泊やゴルフの利用が減っており、会員からは「利用しにくくなった」との意見も寄せられた。会員ならびに学識経験者との事業運営検討会を3回行い、「ベネフィット事業はサービスが多すぎて、どれを利用すれば良いのか分からない」、「このようなサービスがあれば良い」などの意見をもらい、ホームページの改修やアカウント登録キャンペーン等、5年度の事業へ反映を行った。

6年度は、引き続きベネフィット・ワン事業の使い方の丁寧な案内を行うとともに、ゴルフ場等の利用方法の改善やデジタル化に馴染めない会員へのサポート、定期的なアンケートにより会員のニーズに合わせた独自事業の充実を図る。また、より質の高い福利厚生サービスを今後も継続するため、5年度に設置した基金を余暇活動及び健康増進事業に活用するとともに、サポートデスクの継続と中長期の会員増に向けた取り組みを進めていく。6年度は会員数8,000名、事業利用率40%を引き続き目標とする。

《主な事業実績》

①会員数

項目	目標	実績（見込み）	達成状況
会員数	8,000名	7,700名	未達成

②事業利用の状況

項目	目標	実績（見込み）	達成状況
事業利用率	40%	37%	約9割

※事業利用率＝（年度内に事業利用があった会員数／全会員数）

（6）DX推進

公社では、世田谷区の「外郭団体における区民サービスに係る手続き・申込のオンライン化推進について」を踏まえ、5年度に各種サービスの電子申請化、キャッシュレス化、オンラインサービスの提供に取り組んだ。セラ・サービス会員のベネフィット・ワン（福利厚生サービス）利用や就労支援でのオンラインセミナー、経営支援では創業講座の動画配信を実施し、利用者向けサービスを拡充した。6年度は、サービス内容の充実と双方向の対話型サービスの実施に取り組み、創業相談や中小事業者伴走型支援事業等の相談業務や観光事業等での導入を図っていく。

《主な事業実績》

①予約申し込み等の電子申請

項目	目標	実績（見込み）	達成状況
電子申請化した事業数	24	24	達成

（7）施設活用

6年6月の産業プラザ5階の三茶しゃれなあどホール移転による管理体制の変更に合わせ、利用者の利便性向上のため3階の貸し会議室の予約システム・電子施錠を導入し、6

年3月から新たな予約システムでの受付を開始した。今後は、新規顧客の開拓も含めて広報等を進め、集客を図り、稼働率向上に努める。

6年度は、産業プラザの活性化について、産業団体、区、公社による産業プラザ団体連絡会で意見交換を行いながら、公社として1階受付スペースや5階しゃれなあどホール跡地の有効活用の取り組みを決定する。

《主な事業実績》

①貸会議室（3階）の活用

項目	目標	実績（見込み）	達成状況
新たな予約システム	導入	3月から予約開始	達成

4 組織運営

職員の年齢構成の偏りを解消し、継続的な事業運営体制を構築するため、人材派遣会社からの派遣職員や区派遣職員の縮減を図るとともに、4年度より固有職員の採用を行った。6年度も職員体制を整備し、効率的で質の高い業務を執行するため、必要に応じ職員採用等を行っていく。また、5年度から人事考課制度を導入するとともに、区の研修への職員参加を進め、職員のモチベーション向上を継続的に取り組んだ。

①職員採用選考

項目	実績（見込み）	達成状況
4年度（5年2月1日採用）固有	3人	達成
4年度（5年4月1日採用）固有	3人	達成
4年度（5年4月1日採用）契約	2人	達成
5年度（6年4月1日採用）固有	1人	達成

②人事考課制度及び職員研修への参加

項目	目標	実績（見込み）	達成状況
人事考課の実施	実施する	実施した	達成
区研修への参加	38回	38回	達成